

## 地球規模で考え 身近なことから実行を - だれにでもできる環境対策

21世紀は環境の時代といわれております。岡谷市の将来都市像「人と自然が共生する健康文化産業都市」の具体化に向けて、市民の皆様とともにまちづくりを進める中で、環境への取組みは最重要課題であります。

私たちの暮らしは、経済の発展などにより物質的に豊かになりましたが、その反面諏訪湖、天竜川の水質汚濁や地下水の汚染、ごみ問題などの身近な問題から地球温暖化やオゾン層の破壊などの地球環境問題、アスベスト問題、アレチウリの侵略など生態系に関わる問題等、ますます複雑化多様化する環境問題に直面しております。

このような環境問題には、私たちの日常生活や事業活動が深く関わっており、その解決に向けて、私たち一人ひとりがライフスタイルを見直し、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済システムから、環境への負荷の少ない循環型社会への転換を図っていくことが求められております。

本市は、「緑と湖につつまれた美しい郷土」と市民憲章にうたわれているように、美しく豊かな自然に恵まれたまちです。この優れた環境を守り、将来の世代に引き継いでいくことは、現在に生きる私たちに与えられた重要な責務であり、市、市民、事業者がそれぞれの役割を担って、一体となって環境の保全を推進していくことが必要です。

岡谷市環境基本計画はこれらの環境問題に対応し、施策を推進するため平成12年4月制定されましたが、スタートから5年を経過いたしまして、諸情勢の変化や取り組みも変わってきており、今般見直しが行なわれ新たなスタートをしました。

本計画は望ましい環境像「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」を目指して、基本目標、個別目標を明らかにし、市が行う環境保全の基本的な施策を体系的に示し、あわせて市民及び事業者に自主的に取り組んでいただく、環境への配慮行動の指針を盛り込んであり、さらに基本目標ごとに主な指標を設定し、目標又は方向性を数値目安として示し、関心を高めるよういたしました。

かけがえのない「ふるさと」の環境を守るには、本計画により市、市民、事業者がそれぞれの役割を担って、市民総参加による協働が必要であり、地球にやさしい環境のまちづくりのため、強い行動力で環境保全を推進しましょう。

本計画見直しにあたり、貴重なご意見やご提言をいただいた市民の皆さんをはじめ岡谷市環境審議会、ご協力をいただいた多くの皆さんに、心からお礼申し上げます。

平成18年1月

岡谷市長 林 新一郎